

「第 4 次秋田市地域福祉計画の令和元年度取組
状況および令和 2 年度取組予定」について

1 全体の進捗状況

第 4 次秋田市地域福祉計画につきまして、令和元年度における全 90 項目の取組状況および令和 2 年度の取組予定を取りまとめました。

その結果、A（十分な成果を上げた）と B（一定の評価を上げた）の合計割合が 95.6%となっていることから、おおむね順調に進捗したものとらえております。

この取組状況を踏まえ、令和 2 年度については、令和元年度で終了した「福祉有償運送（3-5-24）」を除いた 89 項目を継続実施する予定ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の動向により、変更する可能性があります。

評価	令和元年度の取組状況		第 3 次計画の期間実績（参考）	
	実数	割合（%）	実数	割合（%）
A	36	40.0	31	33.7
B	50	55.6	60	65.2
C	4	4.4	1	1.1
計	90	100.0	92	100.0

※第 4 次計画は令和元年度から開始しており、前年度の実績がないことから、第 3 次計画の期間実績（5 年分の総合評価）を参考に比較した

【評価基準】

等級	評価	例
A	十分な成果を上げた	8 割以上の成果を上げた、事業期間中に見直しを行い現在は十分な成果を上げている、十分な成果を上げ事業が終了した、など
B	一定の成果を上げた	4～7 割程度の成果を上げた、一部課題や取組が不十分な事項があり一部見直しを行いながら事業を進めていく必要がある、など
C	内容の見直しが必要	あまり成果が上がっておらず、廃止を含め、事業の抜本的な見直しが必要である、など

2 主な取組指標に関する実績

上記に記載したとおり、令和元年度において、90の取組毎の進捗状況を評価したほか、計画の達成度が判断できるよう、主な取組には指標を設定しております。

その結果、「↑（好転）」が7項目20.6%、「→（横ばい）」が23項目67.7%、「↓（悪化）」が3項目8.8%となっていることから、横ばいが3分の2以上占める状況です。

なお、全指標34項目のうち、令和元年度中に目標値に達成した指標は全体の4分の1にあたる9項目ありました。

残る25項目についても、目標達成に向けて鋭意取り組んでまいります。

【指標の評価基準と達成度】

評価	評価説明	令和元年度の指標状況
↑（好転）	策定時の実績から、20%以上好転した	7項目20.6%（うち目標達成4項目）
→（横ばい）	策定時の実績から、20%を超えない増減に推移した	23項目67.7%（うち目標達成5項目）
↓（悪化）	策定時の実績から、20%以上悪化した	3項目 8.8%
※（対象外）	達成度の調査対象外となった	1項目 2.9%